

工場

OSPレーベルストック株式会社

滋賀工場/滋賀県米原市

OSPレーベルストック株式会社は、シール・ラベルの印刷用原紙、フィルム加工品を製造販売している会社です。国内最大級の規模の工場で、品質、衛生管理を徹底し、日々技術の進化に挑戦しています。

補助金を活用して停電対応型CGSを導入した結果、停電時にも生産を継続できるとともに、避難所という形で地域社会に貢献できる施設となりました。



外観

補助事業の概要

- 導入設備：停電対応型CGS1000kW×1台、温水吸収式冷凍機65RT×1台
- 共同申請者：JA三井リース株式会社、Daigasエナジー株式会社
- 導入方式：リース・エネルギーサービス方式
- 補助金額：106,300千円（補助率1/2）※複数年度申請のため、R4当初・R4補正交付額の合計額
- 災害時の設備用途：[発電] 避難所の空調・照明・コンセント・トイレ給排水設備への給電、避難者誘導のための構内照明・保安電力
[温水] 利用なし（通常時は生産設備に利用）
[蒸気] 利用なし（通常時は生産設備に利用）

対象施設	避難所面積	供給方式
避難所	386.22㎡	中圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

OSPレーベルストック株式会社 技術開発部 設備保全技術課 課長 堀内 雅彦 様

補助金を知ったきっかけは、ガス会社からの提案でした。電力使用量の多い弊社において、通常時は購入電力を減らし、災害時はメインの生産設備を稼働させ、お客様への供給を継続できる停電対応型CGSを補助金活用によりコストを抑えつつ導入するというものでした。

また、災害時に停電対応型CGSから給電ができるため、自治体と協定を結べば空調やコンセントが使える避難所として地域社会に貢献できることも知りました。

近年、自然災害のニュースを目にすることが増えました。当施設でも災害時に地域の役に立てればと考えてはいたものの、どう貢献できるのかイメージができずにいましたので、お客様への安定供給を可能にしつつ地域に貢献できるならと、補助金を活用した設備導入を決めました。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



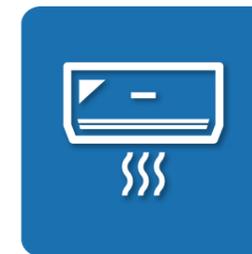
避難スペース(一例)



食堂

など

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調



照明



コンセント



給排水設備

協定概要

米原市とは、「民間等協力緊急避難所に関する協定書」を締結（令和4年9月）。地震、風水雪害その他の災害が発生し、または発生する恐れがある場合に当該施設を避難所とすることについて定めています。